

防ダニ+抗菌

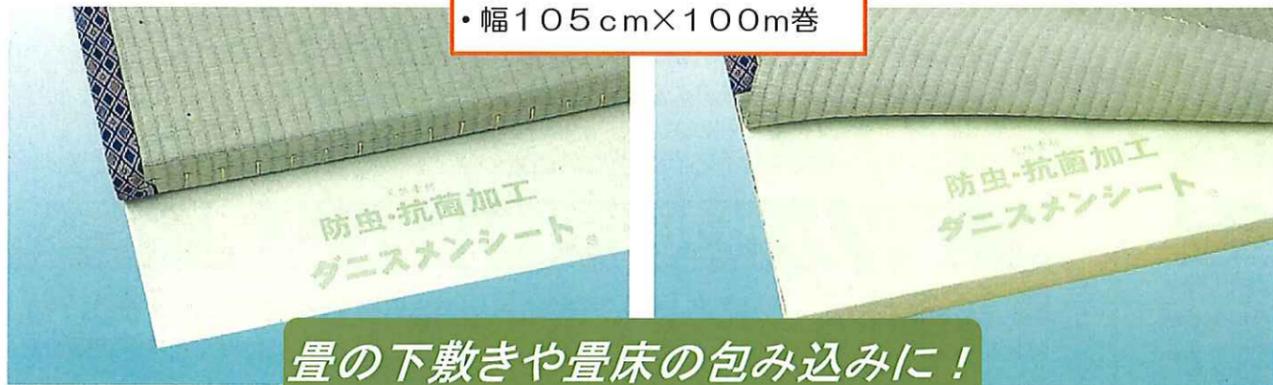
ダニスメンシート

長期間
ダニ・カビを
よせつけない!!
特許登録済

純天然素材100%使用

素材/不織布 ポリエステル100%

- 幅 93cm×100m巻
- 幅 105cm×100m巻



畳の下敷きや畳床の包み込みに!



●上敷きの下に



●ジュウタンの下に
●綿ラグの下に



●押し入れの中に
●クリアBOXの中に

特徴

効果が長持ち

ダニスメンシートは不織布に松ヤニ粉を熱ゆう着してありますので効果が長期間持続し臭いも少ないです。紙テープが良く接着します。

人・環境にやさしい

純天然素材100%使用。天然品の中からダニの忌避・抗菌に優れた物質を使用しておりますので、人と環境にやさしいです

忌避効果 96.1%

忌避効果判定試験結果、96.1%という高い効果が判定されました

試験：(財)日本紡績検査協会 2007年6月

防ダニ+抗菌

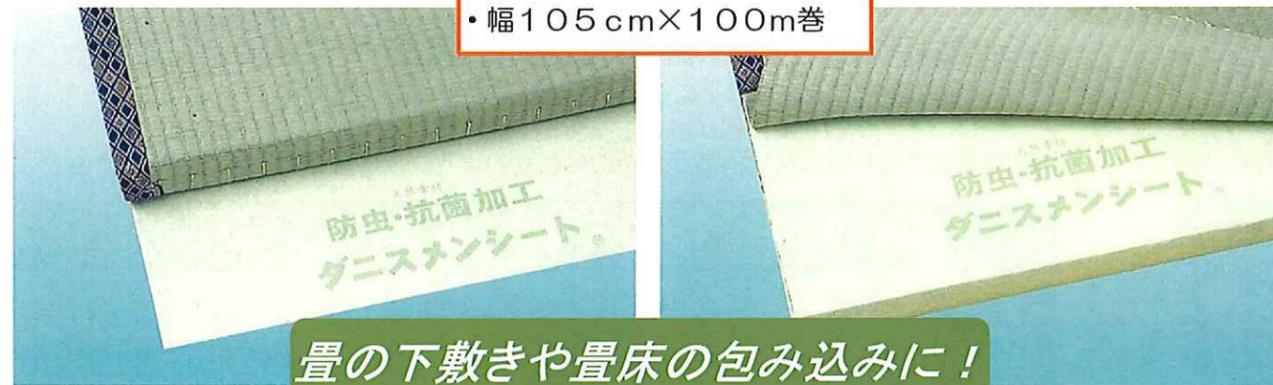
ダニスメンシート

長期間
ダニ・カビを
よせつけない!!
特許登録済

純天然素材100%使用

素材/不織布 ポリエステル100%

- 幅 93cm×100m巻
- 幅 105cm×100m巻



畳の下敷きや畳床の包み込みに!



●上敷きの下に



●ジュウタンの下に
●綿ラグの下に



●押し入れの中に
●クリアBOXの中に

特徴

効果が長持ち

ダニスメンシートは不織布に松ヤニ粉を熱ゆう着してありますので効果が長期間持続し臭いも少ないです。紙テープが良く接着します。

人・環境にやさしい

純天然素材100%使用。天然品の中からダニの忌避・抗菌に優れた物質を使用しておりますので、人と環境にやさしいです

忌避効果 96.1%

忌避効果判定試験結果、96.1%という高い効果が判定されました

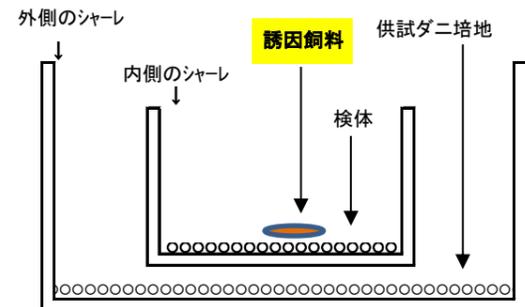
試験：(財)日本紡績検査協会 2007年6月

虫除け・抗菌効果は実証済！

ダニ忌避実験結果

■試験方法

ガラスシャーレに0.5グラムの飼料を均一に敷き、その中央に0.05グラムの誘因用粉末飼料を置く。このシャーレを供給ダニ（ヤケヒョウヒダニ）培地を均一に広げたガラスシャーレの中央に置き、湿度75%温度25度で24時間全暗の恒温恒湿条件で保管した後、中央のシャーレに移動した供試ダニを観察する。



〔試験項目〕

防ダニ効果試験

〔試験方法〕

JIS L 1920 繊維製品の防ダニ性能試験方法 準拠
忌避試験 侵入阻止法
但し、依頼者の指定により試験繰り返し回数を3回とした。

〔対照試料〕

依頼者提出品

〔供試ダニ〕

ヤケヒョウヒダニ *Dermatophagoides Pteronyssinus* (東京女子医大系)

〔算定方法〕

$$\text{忌避率(\%)} = \frac{\text{対照(未処理)試料の生存ダニ数} - \text{処理試料の生存ダニ数}}{\text{対照(未処理)試料の生存ダニ数}} \times 100$$

〔試験結果〕

供試ダニ培地密度測定結果 (測定重量:0.05g)			
2,788	2,435	2,596	2,417
1g当たりの生存ダニ数 51,180			

	各試験片の生存ダニ数					合計
対照(未処理)試料	2,924	3,257	3,009	***	***	9,190

試料名	各試験片の生存ダニ数					合計	忌避率
ダニスメンシート	92	174	92	***	***	358	96.1%

備考1; 処理試料(ダニスメンシート)は、強い匂いがある試料であった。
備考2; 処理試料(ダニスメンシート)は、粘度がある物質で湿り気を帯びており、ダニ数計測時において、誘引用粉末飼料に若干の固化が見られた。
備考3; 処理試料(ダニスメンシート)における生存ダニについて、活動性の低下が見られた。また、上記の生存ダニ数以外に、死亡個体も確認された。(未処理試料について、ダニ計数時における極端な異常は確認されなかった。)

【ダニ忌避実験から見る効果】

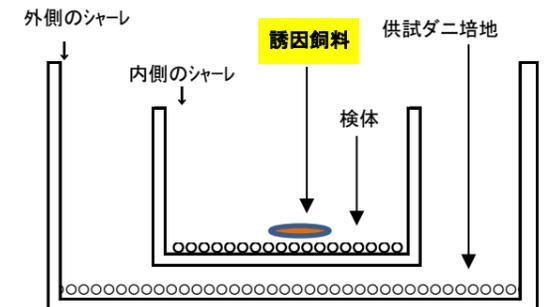
誘因飼料が存在しても、8割以上のダニが松脂粉に近づくことをさけている。
又、いったん誘因飼料に引かれても、松脂粉に触れることで死亡するダニもいる。
専門の薬における効果には劣るが、ダニの忌避効果と軽度の殺ダニ効果が期待できる。

虫除け・抗菌効果は実証済！

ダニ忌避実験結果

■試験方法

ガラスシャーレに0.5グラムの飼料を均一に敷き、その中央に0.05グラムの誘因用粉末飼料を置く。このシャーレを供給ダニ（ヤケヒョウヒダニ）培地を均一に広げたガラスシャーレの中央に置き、湿度75%温度25度で24時間全暗の恒温恒湿条件で保管した後、中央のシャーレに移動した供試ダニを観察する。



〔試験項目〕

防ダニ効果試験

〔試験方法〕

JIS L 1920 繊維製品の防ダニ性能試験方法 準拠
忌避試験 侵入阻止法
但し、依頼者の指定により試験繰り返し回数を3回とした。

〔対照試料〕

依頼者提出品

〔供試ダニ〕

ヤケヒョウヒダニ *Dermatophagoides Pteronyssinus* (東京女子医大系)

〔算定方法〕

$$\text{忌避率(\%)} = \frac{\text{対照(未処理)試料の生存ダニ数} - \text{処理試料の生存ダニ数}}{\text{対照(未処理)試料の生存ダニ数}} \times 100$$

〔試験結果〕

供試ダニ培地密度測定結果 (測定重量:0.05g)			
2,788	2,435	2,596	2,417
1g当たりの生存ダニ数 51,180			

	各試験片の生存ダニ数					合計
対照(未処理)試料	2,924	3,257	3,009	***	***	9,190

試料名	各試験片の生存ダニ数					合計	忌避率
ダニスメンシート	92	174	92	***	***	358	96.1%

備考1; 処理試料(ダニスメンシート)は、強い匂いがある試料であった。
備考2; 処理試料(ダニスメンシート)は、粘度がある物質で湿り気を帯びており、ダニ数計測時において、誘引用粉末飼料に若干の固化が見られた。
備考3; 処理試料(ダニスメンシート)における生存ダニについて、活動性の低下が見られた。また、上記の生存ダニ数以外に、死亡個体も確認された。(未処理試料について、ダニ計数時における極端な異常は確認されなかった。)

【ダニ忌避実験から見る効果】

誘因飼料が存在しても、8割以上のダニが松脂粉に近づくことをさけている。
又、いったん誘因飼料に引かれても、松脂粉に触れることで死亡するダニもいる。
専門の薬における効果には劣るが、ダニの忌避効果と軽度の殺ダニ効果が期待できる。